

新潟大学市民開放授業 受講生募集要項 平成23年度第2学期

新潟大学では、本学の教育・研究を広く地域社会に開放するため様々な活動を行っています。

その一環として、本学学生向け正規授業の一部を開放し、地域住民の皆様にご受講していただくための「新潟大学市民開放授業」を平成14年度から実施しています。

受講を希望される方は、次の要領により奮ってご応募くださるようご案内いたします。

1 開放する授業科目及び募集定員等

開放する授業科目及び募集定員等は、6～19ページに掲載しています。

なお、本学学生と一緒に受講していただくこと、及び講義室の収容能力の都合から、次のような場合は受講できないことがありますので、あらかじめご承知おきください。

- ・本学学生のみで講義室の収容可能人数を超えた場合
- ・市民開放授業の受講希望が著しく多くなった場合

また、市民開放授業は、単位の授与は行われませんので、併せてご承知おきください。

2 開講期間及び授業時間等

(1) 開講期間

平成23年10月3日(月)から平成24年2月7日(火)まで
(授業は、週1回、計15回実施を基本としています。)

(2) 授業時間

時 限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
時 間	8:30 }	10:15 }	12:55 }	14:40 }	16:25 }	18:05 }	19:45 }
	10:00	11:45	14:25	16:10	17:55	19:35	21:15

6、7時限は、本学経済学部夜間主コース学生向けの授業時間となっており、人文社会科学系棟の講義室で授業を行います。

(3) 授業実施場所

新潟大学五十嵐キャンパス(新潟市西区五十嵐2の町8050番地)で実施します。

3 受講生ガイダンス

「新潟大学市民開放授業」の趣旨、受講のための手続き等についてご理解いただくため、受講を希望される方に次のとおり受講生ガイダンスを行いますので、ご出席ください。なお、事前の申し込み等はありません。

日 時 平成23年9月30日(金) 午後3時から
場 所 五十嵐キャンパス総合教育研究棟B251講義室(B棟2階)

- (1) 受講生ガイダンスに出席された方に、「ネームプレート」をお渡しします。
「ネームプレート」は、受講の試聴講期間並びに受講期間中、着用していただきます

ので、紛失されないようご注意ください。

- (2) 都合により受講生ガイダンスに出席できない方は、「4 受講の試聴講期間」において、最初の授業を受ける前に学務部教務課教育実施係(五十嵐キャンパス総合教育研究棟A棟1階③窓口)にお越しください。

4 受講の試聴講期間

受講する科目をお決めいただくにあたり、実際に授業に出席し、授業の概要等をご確認いただけるよう以下の試聴講期間を設けています。この期間中に受講してみたい授業に出席していただき、受講する科目が決まりましたら、「5 受講申込み及び受講の許可等」により受講申込みを行ってください。

- (1) 試聴講期間
平成23年10月3日(月)から平成23年10月17日(月)まで
- (2) お願い
- ① 授業の途中で講義室に入退室することは、授業の妨げになりますのでご遠慮ください。
 - ② 「1 開放する授業科目及び募集定員等」に記載のとおり、本学学生のみで講義室の収容可能人数を超えた場合、市民開放授業の受講希望が著しく多くなった場合には受講できないことがあります。
 - ③ 都合により授業を実施する曜日・時限又は講義室を変更したり、取りやめる場合があります。

5 受講申込み及び受講の許可等

- (1) 受講申込書

「新潟大学市民開放授業受講申込書」は、この受講生募集要項には綴じ込んでありません。

平成23年9月30日(金)に実施する受講生ガイダンスの際にお渡しします。都合により受講生ガイダンスに出席できない方には、「4 受講の試聴講期間」の試聴講期間中、新潟大学学務部教務課教育実施係(五十嵐キャンパス総合教育研究棟A棟1階③窓口)でお渡しします。

- (2) 受講許可
受講する科目を決められた方は、上記(1)によりお渡しする「新潟大学市民開放授業受講申込書」に受講したい授業科目名など必要事項を記入のうえ、試聴講期間中に授業担当教員に提示し、受講許可のサイン等を受けてください。
- (3) 受講票(教員用)の提出
授業担当教員から受講許可を受けたら、「新潟大学市民開放授業受講票(教員用)」(21, 23ページ)を授業担当教員に提出してください。
- (4) 受講料の納付
上記(2)により授業担当教員の受講許可を受けたら、「新潟大学市民開放授業受講申込書」下部の「振込依頼書」により、最寄りの金融機関から受講する科目数分の受講料(1授業科目当たり9,200円)を、平成23年10月18日(火)までに納付してください。なお、振込手数料は受講生の負担となります。
- (5) 受講申込み
上記(4)により受講料を納付したら、「新潟大学市民開放授業受講申込書」(取扱金融機関収納印が押印されたもの)を、平成23年10月3日(月)から平成23年10月20日(木)までの期間に、新潟大学学務部教務課教育実施係(五十嵐キャンパス総合教育研究棟A棟1階③窓口)に持参又は郵送によりお申込みください。
持参される場合の受付時間は、8時30分から17時15分までです。土・日曜日は受付いたしません。郵送による場合は10月20日(木)までに到着するようにしてください。

6 受講に際して

(1) 出席簿について

11月1日(火)以降に学務部教務課教育実施係(五十嵐キャンパス総合教育研究棟A棟1階③窓口)に「出席簿」を用意しますので、授業に出席の都度、出席確認のための押印又はサインしてください。

(2) 欠席について

都合により授業を欠席する場合、授業担当教員及び学務部教務課教育実施係へ連絡していただく必要はありません。

(3) 休補、補講について

授業担当教員のやむを得ない事情により、授業を休講する、あるいは補講を行う場合があります。休講、補講は、「教務課掲示板」(総合教育研究棟学生玄関正面)に掲示してお知らせします。

(4) 受講生の呼び出し等

受講生の呼び出しは行っておりませんので、あらかじめご承知おきください。また、授業中は携帯電話の電源をお切りください。

(5) テキスト代等その他の費用

受講生が授業で使用するテキストの代金及び授業に係るその他の費用は、受講生の負担となります。

(6) 受講の停止

受講生が受講生としてふさわしくない行為等を行った場合、受講を停止することがあります。なお、受講を停止されても、納入された受講料は返還できません。

(7) 損害賠償

受講生が、本学の施設、設備等を破損等したときは、速やかに届け出てください。その損害を弁償していただくことがあります。

(8) 通学方法等

自動車の入構規制を行っております。可能な限り公共の交通機関をご利用ください。事情により自動車を利用して通学しなければならない方は、学務部教務課教育実施係(五十嵐キャンパス総合教育研究棟A棟1階③窓口)にお申し出ください。

(9) 学内施設の利用等

附属図書館(中央図書館)をご利用いただけます。利用案内等の詳細については、附属図書館情報サービス係(025-262-6221)又は、中央図書館のホームページ(<http://www.lib.niigata-u.ac.jp/>)でご確認ください。

福利厚生施設(新潟大学生生活協同組合食堂部、書籍部、購買部等)をご利用いただけます。施設により営業時間が異なりますので、直接ご確認ください。

7 その他

(1) この市民開放授業は、「いきいき県民カレッジ」には参加していません。

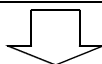
(2) 新潟大学市民開放授業に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

新潟大学学務部教務課教育実施係
電話 025-262-6307 又は 6308
〒950-2181
新潟市西区五十嵐2の町8050番地

受講手続きの簡単な流れ図

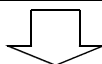
受講生ガイダンス出席

9月30日(金) 15時～
五十嵐キャンパス総合教育研究棟B251講義室
(申し込み不要です)



試聴講期間

10月3日(月) ～ 10月17日(月)
○ 受講してみたい授業に出席し、概要等を確認する。



受講の申込み

10月3日(月) ～ 10月20日(木)

- 授業担当教員にの許可を受け、「受講申込書」に押印またはサインをもらう。
- 「受講票(教員用)」を授業担当教員に提出する。
- 受講料を最寄りの金融機関から納付する(10月18日(火)まで)。
- 「受講申込書」を提出する(10月20日(木)まで)。

(「受講申込書」は、受講生ガイダンス当日以降、学務部教務課教育実施係窓口でお渡しいたします。)

市民開放授業実施科目目次

科目区分(細区分)	ページ	科目区分(細区分)	ページ
健康・スポーツ(体育講義)	6	自然科学(工学)	9 ~ 10
新潟大学個性化科目(地域入門)	6	自然科学(農学)	10 ~ 11
新潟大学個性化科目(自由主題)	6	人文社会・教育科学(人文科学)	11 ~ 12
自然系共通専門基礎(数学・統計学)	6	人文社会・教育科学(教育人間科学)	12 ~ 13
自然系共通専門基礎(物理学)	6	人文社会・教育科学(法学)	13 ~ 17
自然系共通専門基礎(化学)	6	人文社会・教育科学(経済学)	18 ~ 19
自然系共通専門基礎(地学)	7	医歯学(医学)	19
自然科学(理学)	7 ~ 9	医歯学(歯学)	19

「分野」「水準」について

各科目には、その科目の「分野」と「水準」がそれぞれ2桁の数字(コード)で示されています。「水準」は、10の位で聴講できる対象者を、1の位で授業の水準を示しています。

【分野コード表】

10	情報	41	数学	66	畜産学
13	芸術	43	物理学	70	英語
14	健康スポーツ	44	地学	71	外国語
15	生活科学	46	化学	74	キャリア意識形成
16	科学技術社会論	47	応用化学	75	新潟大学個性化科目
17	博物館学	49	工学基礎	76	大学学習法
28	哲学	50	機械工学	77	課題研究
29	文学	51	電気電子工学	80	基礎医学
30	言語学	52	土木工学	81	臨床医学
31	史学	53	建築学	82	社会医学
32	人文地理学	54	材料工学	85	看護
33	文化人類学・民俗学	55	プロセス工学	86	福祉
34	法律学	56	人間医工学	87	境界医学
35	政治学	57	生物学	90	基礎歯学
36	経済学	60	農学	91	臨床歯学
37	経営学	61	農芸化学	92	社会歯学
38	社会学	62	林学	99	その他
39	心理学	64	農業経済		
40	教育学	65	農業工学		

【水準コード表】

10の位の数字		1の位の数字	
0	全学の学生を受け入れることが可能な科目	1	大学学習法など、大学での学習を円滑にするためのもの
1	当該学部(学科)の学生に限られる科目	2	高等学校との接続を意識した水準(リメディアル)
2	教員免許など資格に関わる科目	3	通常の大学の基礎的水準
		4	専門の中核的水準
		5	発展的内容の科目で大学院との接続水準

平成23年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

健康・スポーツ(体育講義)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
1	110G2520	14	03	健康スポーツ科学講義	月	2	上村 征夫	120	若干名	総合教育研究棟 B-251	現代社会におけるスポーツの意義・役割やスポーツ活動の実践の場及びスポーツを支えるものなどについて学習し、健康で豊かな人生とスポーツの関わりについて考察する。
2	110G2521	14	03	健康スポーツ科学講義	火	4	塩野谷 明	120	若干名	総合教育研究棟 B-355	運動・スポーツについて、バイオメカニクスの視点からヒト系のパフォーマンス向上のための基礎について解説するとともに、その応用としてスポーツ工学的視点から機械系(またはヒト-機械系)のパフォーマンス向上のための基礎についてトピックスを交えて考察する。

新潟大学個性化科目(地域入門)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
1	110G3703	75	03	新潟県の水質・土壌環境	月	4	高橋 敬雄	150	若干名	工学部 101	地方大学の使命の一つは、その地方の問題点を明らかにし解決の途(みち)を探ることである。この講義では、担当教員がこれまで四半世紀にわたって研究してきた新潟県内の水質および土壌の汚染実態をわかりやすく紹介し、汚染を解消するにはどうしたらよいか考えたい。
2	110G3705	75	03	地理情報システム(GIS)概論・応用演習	水	2	田村 圭子・他	50	若干名	情報基盤センター PC実習室A	日常生活上に発生している様々な課題を明確にとらえ、その解決法としてのGIS利用術を学ぶ。また、近年、我が国においても多発化している災害に対して、事前と事後においてどのような事例を通して解決法を検討し、各受講者の視点でのGIS利用のベストソリューションをワークショップ形式で考え、学んでいく。

新潟大学個性化科目(自由主題)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
1	110G3709	71	03	文字文化論	月	5	高橋 秀樹	30	若干名	総合教育研究棟 F-274	ヨーロッパの古代から中世において発達した写本文字を、特殊ペンを使って習得する。
2	110G3730	75	03	新聞ジャーナリズムと社会—新潟日報社との連携授業	火	3	本間 正一郎	150	若干名	総合教育研究棟 B-255	インターネットを基盤とするさまざまな情報ツールが爆発的に普及するなか、人々は情報との付き合い方を見失いつつあるのではないか。何でもできるという過信が逆にすべてに無知という悲惨な状態を招いていないか。マスコミという蔑称が当たり前のように口にされるが、実は多くの人はあまりにもメディアを知らず、偏った情報に踊らされているのではないか。メディアとの利口な付き合い方を知ることは実社会で武器を持つことになる。
3	110G3727	75	03	エネルギー概論Ⅱ	金	3	太田 雅壽・他	400	若干名	総合教育研究棟 E-260	21世紀は、「環境の世紀」とも言われ、地球環境問題に対する関心が高まっている。この地球温暖化をはじめとする地球環境問題を論ずる場合に必要知識として、電力を中心としたエネルギー利用の歴史や実態並びに今後の動向及び地球環境問題との関係について概説する。

自然系共通専門基礎(数学・統計学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
1	110G5505	41	03	統計学基礎	水	2	磯貝 英一	100	若干名	総合教育研究棟 B-253	情報化社会における不確実性の増加にともない、統計的なものの方や考え方は自然科学、人文科学、社会科学などの全分野で重要になってきている。この講義では統計学の基礎的事項について学ぶ。

自然系共通専門基礎(物理学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
1	110G5513	43	03	物理学基礎D	木	2	川瀬 俊為	120	若干名	総合教育研究棟 B-355	我々の身の回りには電化製品が満ち溢れ、電気なくして今日の我々の生活は1日たりとも成り立たないといっても過言ではない。そのような我々の生活に必要な不可欠な電磁気についての基礎的知識を学び、摩擦電気や雷などの自然現象から電化製品の動作を支配する原理まで、電磁気現象全般に対する理解を深める。また、授業の各回について物理学の一般的な内容を含んでおり、全体を受講することで物理学の総論を包括的に履修することができる。

自然系共通専門基礎(化学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
1	110G5514	46	03	化学基礎A	火	5	生駒 忠昭	150	若干名	総合教育研究棟 B-255	原子の構造・性質、周期律、イオン結合・共有結合などさまざまな結合の成り立ち、分子の構造、それに起因する物質の性質についてミクロな立場から解説する。授業は一般的な内容を含んでおり、この科目を履修することにより化学の包括的な内容を習得できる。

平成23年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

自然系共通専門基礎(地学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
1	110G5524	44	03	地学基礎B	金	4	栗原 敏之	120	若干名	総合教育研究棟 G-415	地球は、大気圏、水圏、岩石圏、生物圏から構成され、ひとつのシステムをなしている。この科目では、現在の地球システムについて解説するとともに、地質時代のいくつかをとりあげ、過去の地球システムがどのようなものであったのかを概観する。 生物は、地球環境の変遷に影響を受けながら、また、地球環境に影響を与えながら命の輪を繋いできた。地球環境の移り変わりをおさえながら、地球の誕生から現在にいたる46億年の地球史・生命史を跡づける。 なお、この科目は地学分野の一般包括的な内容を含んでいる。

自然科学(理学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
1	110S5013	44	04	鉱物学A	月	2	赤井 純治・他	35	若干名	理学部 A307 実習室	地球(及び宇宙)の固体構成物質である鉱物について、その諸性質等、基礎的概念の修得、基本的な原理等、鉱物学の基礎を全般にわたって習得する。
2	110S6024	44	04	地形学	月	2	卯田 強	46	若干名	理学部 B303	第四紀(約200万年前以降)の気候変動の歴史にながら、地形とくに海岸平野や湖沼などがどのように形成あるいは変化し、歴史時代の人々がどのように利用し改変しようとしたかを解説する。
3	110G6502	41	03	基礎数学AⅡ	月	3	渡邊 恵一	100	若干名	総合教育研究棟 B-353	微分積分学Ⅰで学んだ1変数の微積分学を、多変数関数の微積分学に拡張する。定理等を厳密に証明することにはとらわれないが、基礎的な考え方の理解に努め、図をかいたり計算して分かるような証明は行う。
4	110S1003	41	03	微分積分学Ⅱ	月	3	渡邊 恵一	40	若干名	総合教育研究棟 B-353	微分積分学Ⅰで学んだ1変数の微積分学を、多変数関数の微積分学に拡張する。定理等を厳密に証明することにはとらわれないが、基礎的な考え方の理解に努め、図をかいたり計算して分かるような証明は行う。
5	110S6017	57	04	機能形態学B	月	3	濱口 哲	40	若干名	理学部 B205	動物は地球環境の変遷につれて、環境に適応した機能と形態を発達させてきた。その結果、動物の機能・形態は一見極めて多様なものとなったが、反面、細胞機能面での制約から、原理的には共通性が認められる。本講義では動物の体の構造とその発生過程について、細胞生物学を基礎として比較動物学的観点から解説する。
6	110G6535	44	03	地球と気象	月	4	本田 明治・他	150	若干名	総合教育研究棟 B-355	今日は雨が降るかな、風が吹いて寒いかな、など我々は毎日空模様を気にして日々の生活を送っている。このような日頃おなじみの天気、すなわち大気さまざまな現象(気象)は、全て物理の法則に従っている。地球に降り注ぐ太陽放射エネルギーを源として、地球上の大気は温度差を解消するために運動し、地球に存在する水は水蒸気-水-氷の相変化を伴って循環しているのである。本講義ではこのような地球上にみられるさまざまな大気現象のメカニズムを分かり易く解説する。
7	110G6505	41	03	基礎数理AⅡ	火	1	菅野 政明	100	若干名	総合教育研究棟 B-251	この科目で学習する多変数関数に対する微分積分学は、ベクトル解析、複素関数論など数学の分野を習得する上で重要な基礎となり、また現実的な理工学の諸問題の理解・解法のための必要な道具である。この科目では多変数関数の微分積分学の基礎理論を学ぶ。
8	110G6512	43	03	物理学への招待B	火	1	柳瀬 陽一	100	若干名	総合教育研究棟 B-353	物理学を専門としない学生向けに、物理学的な考え方や概念を理解してもらおうことを目標として、物理学が発展してきた歴史を現代物理学の観点から解説する。
9	110S6035	57	04	多様性生物学C	火	2	上井 進也	46	若干名	理学部 B301	生物界には動物・植物ばかりではなく多くの原生生物も存在し、それぞれが独特の進化をとげている。本講義では生物界全体の系統進化について分子系統学的研究の成果をふまえて解説し、とくに真核生物の中の主要な系統群について基礎的な知識を身につけてもらうことを目標とする。
10	110S6011	44	04	地形情報科学	火	3	卯田 強	40	若干名	理学部 C-101実習室	地形や地質の解析をGISによる解析理論と実習のアドバンスト・コース。
11	110S6037	43	04	基礎量子力学	火	3	副島 浩一	30	若干名	理学部 B205	赤外線は二酸化炭素には吸収されますが、窒素には吸収されません。これはなぜでしょうか?これに答えるためには量子力学の知識が必要になります。我々のくらす世界と大きくかけ離れたミクロの世界を支配している量子力学は、とつきにくい(敷居の高い)学問分野だと言われています。確かに、「なるほど」と納得するには我々の経験と大きく違っています。しかし現在では、先人の努力によって、かなり系統立てて整備された学問体系が築かれていますので心配にはおよびません。本科目では、量子力学に親しんでもらうということを第一義にして、何に役立っていくのかという出口を示しながら初学者にも分かりやすい講義を心がけていこうと思っています。
12	110S3008	46	03	有機化学Ⅰ	水	1	長谷川 英悦	60	若干名	理学部 B201	化学結合の仕組みについて解説し、基本的な有機化合物であるアルカン、アルケン、アルキン等の分子の構造、立体化学、合成法および反応性について基礎的な知識を身につける。

平成23年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

自然科学(理学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
13	110G6518	46	03	生活の化学	水	2	堀米 恒好	150	若干名	総合教育研究棟 F-271	身近な現象や私たちの生活を豊かにするために用いられている物質を題材に、「化学的なものの見方」を解説する。
14	110S3019	46	03	分子分光学	水	2	生駒 忠昭	46	若干名	理学部 B205	太陽光観測に始まった分光学の歴史は長く、スペクトルの理解が深化する過程は量子論の誕生・発展と密接に関わってきた。今では、分光学は物質科学のあらゆる分野において欠くことのできない研究手段となっている。本科目では、多原子分子を対象にした種々の分光学の基礎について講義する。
15	110S6022	43, 46	04	エネルギー物質科学	水	3	臼井 聡	55	若干名	理学部 B203	本講義ではエネルギー形態(力学エネルギー、熱エネルギー、電気エネルギー、化学エネルギー、核エネルギー、光エネルギー)の解説と、それら間での変換における基本的な法則の講義を行う。さらに地球誕生とともに培われてきた、生態系でのエネルギー利用術や未来へ向けてのエネルギー変換・貯蔵・利用法として注目されている、燃料電池、太陽電池、人工光合成などのトピックスを取り上げて講義する。また、地球規模で見た社会的なエネルギー問題についての解説・討論も行う。
16	110S4020	57	04	植物細胞生理学	木	2	菊山 宗弘	40	若干名	理学部 B203	生命現象の記述には生態系や個体群のようなマクロな視点に立つものから、分子などのミクロな視点に立つものまで各種の姿勢がある。本講義では、植物の生活の機構を、主に細胞のレベルから解説する。 生命現象の物質的側面を理解するためには、化学的知識はもちろんであるが、物理化学の視点も重要である。そこでこの科目では、物理化学的視点に重点を置いて解説をする。
17	110S6012	43, 44	04	気候システム論	木	2	本田 明治・他	55	若干名	理学部 B204	地球表面の約70%は海に覆われている。海洋学は海洋地理、地質、生物、化学、物理の各分野を網羅する統合的学問である。本講義では海洋の物理現象に焦点を当て、黒潮など海洋の表層の循環場がどの様にして維持されているのか、また大気循環場との関係はどうなっているのか、深層における循環の実体はどうなっているのか等、海洋の基礎的事象について講義する。
18	110G6521	46	03	グリーンケミストリー入門	木	3	長谷川 英悦・他	220	若干名	総合教育研究棟 B-355	地球環境と化学物質の関わりについての入門的内容を解説する。主な内容は、地球の歴史、地球の現状、環境汚染、環境分析と評価、物質の合成、物質の利用と処理、生化学反応の応用、バイオマス、等である。
19	110G6527	44	03	地学C(マグマと火山)	木	3	藤林 紀枝・他	150	若干名	総合教育研究棟 F-371	地球上には多数の火山がある。その分布は地球内部の運動に関係しており、中央海嶺、島弧、ホットスポットは火山の集中する場所である。また近年、巨大海台もスーパーブルームに関連する火山活動の場として注目されている。 そこで本講義では、火山噴火を起こすマグマは一体何ものなのか、どのような種類があるのか。地球内部でどのようにしてできるのか。マグマ発生から火山噴火にいたるまでにどのような変化を被るのか。マグマ学の基礎と、火山活動と地球内部の運動との関連について講義する。 また、火山の噴火様式は火山災害と密接な関係をもち、どのような場合に激しい噴火が起こり、どのような火山災害が引き起こされるのかを知ることは重要である。一般に激しい噴火には水や二酸化炭素などのガスが関与し、マグマ中に溶存していた揮発性成分、地下水、地表水の役割について分かりやすく述べる。また、噴火による周辺地形の変化や、噴火時だけでなく噴火後にも起きるさまざまな災害についても論じる。 講義は、火山岩教材、火山の写真、ビデオなどを用いて、視覚的に理解しやすいよう工夫する予定である。
20	110G6504	41	03	基礎数理AII	木	4	岡 徹雄	100	若干名	総合教育研究棟 B-251	本科目では、第I期に習得した知識をさらに進め、より高度に展開し多変数系の実践的な微分積分法の学習を通じ、工学部での専門研究に適用可能な知識を習得する。
21	110S3022	46	03	生体分子化学II	金	1	堀米 恒好	60	若干名	理学部 B201	前半では、脂質の構造とこれによって形成される生体膜の機能および酵素の構造と触媒機構について解説する。後半では代謝について、解糖系、クエン酸サイクルおよび電子伝達系を中心に解説する。
22	110G6531	44	03	地学概論B	金	2	松岡 篤	150	若干名	総合教育研究棟 G-410	地球の歴史を早送り眺めると、大陸が地球表面を動きまわることがわかる。その動きは、まるで水面を漂う浮き草のようだ。海陸分布・配置は、地球環境に大きな影響を与え、その影響をうけながら生物は進化してきた。この講義では、プレートテクトニクスという言葉 키워ドにして、最近6億年の地球史を概観する。浮き草に乗ってわれわれはどこに行こうとしているのだろうか。
23	110S3004	46	03	無機化学I	金	2	工藤 久昭	60	若干名	理学部 B201	天然における元素合成を含めて元素の起源を解説した後、無機化学の観点から、元素の化学的性質を理解するための基本的概念を解説する。

平成23年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

自然科学(理学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
24	110S3023	46	04	生体分子化学Ⅲ	金	2	古川 和広	46	若干名	理学部 B303	生命現象に関わる遺伝情報は、DNAとして細胞内に蓄えられ子孫に正確に伝達される。生体分子化学Ⅲでは、DNAが正確に伝達される複製の機構およびDNAから遺伝情報が読み出され生理的な機能を発現するための転写および翻訳の機構に関して解説を行う。
25	110S6014	46	04	環境分析化学	金	2	松岡 史郎	46	若干名	理学部 B205	我々の周囲で起きている様々な環境問題を定量的に把握するためには、環境試料の化学分析は不可欠である。しかしながら不適当な試料採取や化学分析が行なわれた場合には、環境に対して事実と異なる認識をしてしまう恐れが十分ある。したがって、正確、精密な分析値を得ることはもちろん、得られた分析値の妥当性をも吟味できるような分析化学の基礎的知識を習得することは重要である。本講義では平衡論を中心とした分析化学の基礎についての講義を行なうとともに、環境分析への応用についても説明する。
26	110S3014	46	03	化学熱力学	金	4	大鳥 範和	60	若干名	理学部 B201	化学は、物質の構造と物性、反応や平衡、合成などを体系的に扱う学問であるが、本講義では主に物質の状態とその変化を物理化学的に扱うための基礎について、項目を絞って平易な解説を行う。また、理論的理解と同程度に実計算能力の形成を重視する。

自然科学(工学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
1	110T4026	56	24	人間工学	月	1	飯島 淳彦	70	若干名	工学部 104	人間はいまや数多くの道具や機器を使い、人工的な環境の中で暮らしている。それによって物質的には豊かな社会となった。その反面、機器を使うことによる人間の思考や行動の制限、そして人間の精神や肉体への障害が無視できなくなっている。近年のテクノストレスはその典型である。“人間工学”とは、このような人間と機器・環境との関係を、ヒトの形態・心理・生理的特性を考慮して人間・機械系として捉え、人間にとって最適な作業形態・環境・機器・道具を設計するための基礎知識を与える学問分野である。多くの分野に関連し、学際性の高い内容を扱う。
2	110T5041	55	04	材料プロセス工学	月	3	木村 勇雄	50	若干名	工学部 205	材料の製造プロセス、およびその理解に必要な基礎知識を解説する。
3	110T2042	51	04	電子回路Ⅱ	火	2	菊池 久和	未定	若干名	工学部 211	集積回路の基本回路としてカレントミラー、差動増幅回路等を説明する。また、電子回路設計技術に革命的变化をもたらした演算増幅器とその応用回路を説明する。次に、発振回路を正帰還回路とみて発振条件を誘導し、発振の一般論を述べる。低周波発振、高周波発振、電圧制御発振と位相同期ループを説明する。最後に、変調・復調回路等について言及する。
4	110T4029	56	24	生体機能工学	火	2	林 豊彦	70	若干名	工学部 104	本科目では、ヒトの生体機能のメカニズムについて述べる。講義内容全体は大きく分けて4つの部分から構成される。第1部では本科目の概要とセンシングとシミュレーションについて述べる。第2部では細胞膜の活動電位、受容器、ニューロン、神経回路、脳のメカニズムについて述べる。最後の第3部では筋と運動制御系のメカニズムについて述べる。
5	110T4020	56	24	支援機器工学	火	3	渡辺 哲也	60	若干名	工学部 105	高齢者・障害者が、自立的かつ快適に日々の生活を過ごすために各種支援機器が用いられている。利用者の障害の部位や知覚・運動機能の状態に応じるため、支援機器には様々な種類がある。そのような支援機器のうち、移動や日常生活を支援する機器を中心に解説をする。コミュニケーションを支援する機器についても一部触れる。義肢・装具、車いす・福祉車両など日常生活の中で普及している支援機器から、パワーアシスト、BCI(ブレイン・コンピュータ・インタフェース)など近年使われ始めた、あるいは研究段階の支援機器までを取り扱う。
6	110G6537	46	03	最先端技術を支える化学Ⅱ	水	1	谷口 正之・他	120	若干名	総合教育研究棟 B-353	新材料・新素材の開発、食品・医薬品の創製、地球環境の保全、エネルギー・資源の有効利用など、社会生活にとって不可欠な技術の発展において、化学が果たしてきた役割を学習する。特に、天然有機化合物の利用や身近にある医薬品・材料・食品などの開発における化学の役割について、具体的に解説する。
7	110T5050	47	04	分析化学	水	1	今泉 洋	120	若干名	工学部 202	工学で行う化学分析の基礎について概説する。具体的には、溶液中のイオン強度や活量の算出、データ処理法、試薬の製造、定性分析・定量分析などの原理、容量分析や重量分析の理論・計算法、などについて述べる。

平成23年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

自然科学(工学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
8	110G6536	50	03	くらしを支える機械システム工学	水	3	新田 勇・他	200	若干名	総合教育研究棟 G-410	洗濯機やエアコンなどの身近な機器から自動車や飛行機などの乗り物などに至るまで、これらは機械システム工学の知識や技術をもとに作られ、人々の生活を支えている。機械システム工学の内容も基本的な力学から、材料の科学、加工や制御など多くの分野に分類される。この科目では、日常使われている機械や生活に関連する様々な現象に、機械システム工学の基礎的な概念やその技術がどのように関わっているかを紹介する。
9	110T4027	56	24	ヒューマンインタフェース	水	3	宮川 道夫	未定	若干名	工学部 209	支援に用いられる機器やシステムはヒトと一体化されて最も良く機能を発揮するものでなければならない。このために機械が備えなければならない条件について、ヒューマンインタフェース設計と評価の立場から講義する。設計段階で不可欠なデータである生理特性や認知特性などの生体諸特性についても説明する。本講義では、誤りをなくし、使い勝手のよい機器やシステムを設計・評価する手法を習得する。
10	110T4022	56	14	福祉情報技術入門	木	3	林 豊彦・他	60	若干名	工学部 209	<ul style="list-style-type: none"> 「福祉情報技術コーディネーター」とは、高齢者や障がい者がコンピュータを含む「支援技術」と補助機材を利用して自立できるように、環境提案を行ったり機器の操作技術を教えたりする指導者のことである。 この科目は、福祉情報技術コーディネーター認定試験（財団法人全日本情報学習振興協会）の3級レベル（基本編）の内容を教える。 講義だけでなく、実習やデモも取り入れて、具体例に触れながら電子情報支援技術の基礎を学ぶ。
11	110T4014	50	24	機械システム論	金	2	三村 宣治	60	若干名	工学部 202	福祉機器などを設計するために必要な機械工学の一般的基礎知識を修得することを目的とする。講義内容としては、材料力学、流体力学、熱力学などの機械工学分野の一般的な基礎知識を概説し、機械工学諸分野の最も基礎的な内容を確実に修得し応用できることを目標とする。

自然科学(農学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
1	110A3302	65	03	水と食の環境論	月	3	三沢 真一 中野 和弘	240	若干名	総合教育研究棟 B-355	本科目では水と食糧をめぐる環境問題を取り上げます。最初に水環境と人間活動の関係を学びますが、その中でまず水環境の基礎となる水質について、汚濁や浄化技術を解説します。さらにいかに水質や景観、そして生態系を保ちながら水を上手に利用していくか述べた後、水を利用するためのさまざまな水利施設についてその機能を解説します。次いで農業活動における環境と人間活動の関係を学ぶために、主要な農作物である米の生産から収穫・流通までの工程を概説します。さらに米穀や他の農産物の流通に関して生産履歴や品質保証技術について概説し、農畜産業のロボット化、知能化に加えて食品工場の安全・衛生管理技術についても解説します。
2	110A2015	61	03	食品衛生学	火	2	城 斗志夫	240	若干名	総合教育研究棟 B-255	本来、食品は100%安全なものでなければならないが、実際にはリスクのない食品など存在しない。食品における危害要因として食中毒細菌、ウイルス、寄生虫、食品添加物、残留農薬、食品中の有害成分など様々なものがあり、食の安全・安心を確保するにはそれらを正確に理解することが大切である。食品衛生とは、食生活においてそれら危害要因から生命を守ることであり、本講義では特に食中毒と食品添加物に焦点を絞って解説し、実社会で役立つ食品衛生の基礎知識を習得させる。なお、農学部応用生物化学科は食品衛生管理者および監視員の養成施設となっていることから食品衛生行政についても説明する。
3	110G6540	61	03	くらしと微生物	火	3	城 斗志夫・他	100	若干名	総合教育研究棟 F-371	微生物とは一般に顕微鏡でなければ観察出来ない微小な生物の総称である。小さくて人の目にとまらない生物であるが故に、日常生活で微生物の存在を意識することは非常に少ない。しかしながら、微生物は人間の生活に深い関わりを持ち、また生物学的にも大変重要な生物群である。本講義では、生態系の維持、食生活、健康、バイオテクノロジーなどにおいて微生物がどのような役割を果たし、微生物がどのような可能性を秘めているかについて解説する。
4	110A2004	61	03	土壌学概論	水	1	野中 昌法	240	若干名	総合教育研究棟 B-255	20世紀には工業の飛躍的な発展を背景に農業生産が飛躍的に増大した。しかし、現在の農業生産活動は農耕地を劣化させ、農耕地が環境負荷の発生源であり、地域環境にとどまらず地球規模の環境問題と関連していることが明らかになっている。このような状況のなかで、土壌の生産力だけではなく、土壌の環境保全機能の重要性が改めて認識されている。本講義では、土壌の化学性、生物性、物理性、管理法などについて概説し、土壌の生産力と環境保全機能について学ぶ。

平成23年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

自然科学(農学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
5	110G6538	46	03	生命と環境の化学Ⅱ	木	1	末吉 邦・他	120	若干名	総合教育研究棟 B-251	地球を取り巻く環境のなかで、生命は種々の化学現象の集積によって成り立ち、維持されている。例えば、植物は無機栄養物を取り入れて有機物をつくり、動物は植物を摂り、消化・吸収し、体をつくり、子孫をふやしていく。また、身近にある草花の多様な花色も化学現象から成り立っている。このような私達の身の回りの環境や生命現象の多くが、化学の言葉によって初めてより深く理解される。本講義ではいくつかの例を具体的に取り上げ、私たちの身の回りの生活における化学の役割を理解することを目標とする。
6	110G6539	60	03	生物資源論	木	3	青柳 齊・他	250	若干名	総合教育研究棟 B-255	現代の食料問題との関連で、生物資源がどのような改良・生産、活用によって維持、提供されているのか、そこでの先端技術や課題は何かについて、植物生産学や動物生産学および社会科学の多様な観点から解説する。
7	110A1003	66	03	動物のバイオサイエンス	金	3	高田 良三・他	138	若干名	総合教育研究棟 B-251	我々人類は、自然界に存在する様々な糧(資源)を利用し、今日の豊かで多様な社会を築いてきた。動物はそのような資源の一つであり、乳・肉・卵などの畜産物を生産する資源動物、安らぎを与え心の支えとなる伴侶動物、生命科学の基礎研究に必要不可欠な実験動物など、我々の生活は多くの動物によって支えられている。本講義では、動物性タンパク質を我々に供給してくれる資源動物そのものの生産と改良、ならびに利用と保全の現状、さらに、動物の多面的機能を利用したタンパク質の安全で効率的な生産について、バイオサイエンスの基礎と応用の両面から解説するとともに、資源動物の開発や改良、生産物の利用に関する各種技術の将来展望についても説明する。

人文社会・教育科学(人文科学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
1	110H5013	29,30	03	日本・アジア言語文化入門B	月	4	橋谷 英子・他	80	若干名	人文社会科学系棟 B331	アジア文化の諸相を、各教員の専門(語学・文学を中心とする)に応じて、紹介・概観する。 例:中国古典の分野を担当し、原典に触れながら古典文学や古代思想を学ぶきっかけをつかむ。中国の人々の暮らし、文化を映画を通して知る。
2	110G7527	71	03	中国語オブショナルA	火	4	干野 真一	15	若干名	総合教育研究棟 G-312	中国語の学修に意欲がある学生が、学部、専門、学年を問わず第三、第四の外国語として履修できる中国語の入門コースです。
3	110H5019	10,29	03	メディア・表現文化入門B	火	4	石田 美紀・他	80	若干名	総合教育研究棟 B-251	表現文化って、いったいどこどこ?—この講義は、そんな素朴な疑問に答える入門科目です。
4	110H5009	31,29	03	歴史文化学入門B	火	5	山内 民博・他	80	若干名	総合教育研究棟 B-251	高校までの世界史・日本史の授業と、大学での歴史学の研究はどのように異なるのか、歴史研究とはどのように行うのか、といった歴史文化学主専攻の基本を、各地域・時代の専門教員6人によるオムニバスの形で講義する。
5	110G7512	30	03	日本語教育I-B	水	2	足立 祐子	20	若干名	総合教育研究棟 B棟5F多目的ルーム	本講義は、日本語を第一言語としない人たちに、外国語または第二言語として日本語を教えることについて、受講生自らが体験を通して理解し言語習得について知識を持つことを目的とする。受講者は、与えられたテーマについてグループディスカッションや体験を通して、「日本語を学ぶ・教える」ことについて考察する。話し合いや体験学習が中心であるため、全講義の8割の出席率及び課題提出が単位取得のための最低条件となる。
6	110G7521	31,33	04	人文超域科目B	水	3	荻 美津夫・他	50	若干名	総合教育研究棟 B-353	越後佐渡の民俗と文化等について考える。詳細は授業計画参照のこと。
7	110G7517	39	03	乳幼児心理学	木	4	白井 述	150	若干名	総合教育研究棟 B-255	近年の心理学的研究の進展によって、まだしゃべることのできない乳幼児がどのような心的世界を持つのかについての理解が飛躍的に深まっている。これらの乳幼児心理学的研究の成果について紹介しながら、発達初期における「心」がどのようなものであるのかについて講義形式で解説する。
8	110G7529	30	03	領域融合・超域科目E	木	5	番場 俊・他	80	若干名	総合教育研究棟 F-271	専門の異なる複数の教員が、それぞれ異なった視点から言語の問題について考える、オムニバス形式の講義。
9	110H5006	31,33,38	03	社会・地域文化学入門B	木	5	松井 克浩・他	80	若干名	総合教育研究棟 B-251	高校までの覚える授業から、大学の「考え、創造する」調査研究への橋渡しを行う。社会学・文化人類学・民俗学・考古学・人文地理学・芸能論の各教員によるオムニバスの形式で、過去から現代に至る人間の社会的・文化的営みの足跡をたどる方法の数々と、その実例を紹介しながら、それぞれの学問を学ぶとはどういうことか考えていく。

平成23年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

人文社会・教育科学(人文科学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
10	110G7522	28	03	倫理学入門	金	3	栗原 隆	200	若干名	総合教育研究棟 B-255	倫理学とは、道徳心を涵養する学問でも、徳目を覚める学問でもありません。日常を振り返って、習わし、習慣、常識とされていることについて、本当にそうだろうかと考へて、無意識的な行動規範を自覚的にすることこそ、倫理の意義なのです。この授業では、そうした何となく則っている行動規範を、本当にそうなのか検証して、自覚化するために考へたいと思います。
11	110G7506	38	03	現代社会論	金	4	松井 克浩	150	若干名	総合教育研究棟 F-271	社会学は「現在(いま)」を呼吸する学問である。この講義では、現代日本社会が抱えている諸問題と、受講生一人ひとりが抱えている問題をできるだけ結びつけながら論じてゆく。まず社会学の視角の特徴をおさえた上で、とくに女性労働や家族、地域社会、青年意識などの身近で具体的な現象を手がかりにして、現代社会が抱える問題点を理解するように努めたい。単なる知識の暗記ではなく、自分で考へるきっかけになるように、様々な問いを投げかけつつ授業を進行してゆきたい。
12	110H5016	29,30	03	西洋言語文化入門B	金	5	高木 裕・他	80	若干名	総合教育研究棟 F-274	西洋言語文化入門Bでは、人文学部西洋言語文化学プログラムの「ヨーロッパ言語文化」を中心にして、その教育内容をわかりやすく説明します。

人文社会・教育科学(教育人間科学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
1	110G7534	13	03	ビジネス書道入門	月	2	岡村 浩	70	若干名	総合教育研究棟 B-351	様々な欲求の中で ○文字が上手になりたい と思う人々は結構多い。 生まれながらにして人それぞれ手筋があって、生まれながらにして人それぞれ外見や性情が異なるのと、それは同じものである。生まれつき備わった各人の持ち味の中で本授業では特に、「文字を書く時の手くせ」をあらためて見つめ直しその特質を認識し、そして活用することを第一の目的とする。 授業形態は、実技において手本を配布しそれを練習する。希望者には、添削を行う。あと半分、実技ばかりでなくものを鑑賞して見て楽しむ、いわば伝統的心の教育たる面も重視して、そのためのテキストを授業中活用する。
2	110K1304	41	04	線形代数学Ⅱ	月	2	垣水 修	—	若干名	教育学部 206	線形代数学Ⅰで学んだことを前提に、線形空間、固有値と固有ベクトルの理論を学びます。具体例と抽象的な理論との相互関係をじっくりと考察することにより、数学的な考へ方の良さとその威力について理解を深め、線形代数学の様々な技法を習得することを目標にします。
3	110K6504	15	04	被服学Ⅱ	火	1	中村 和吉	—	若干名	教育学部 102	被服(衣服)は身体表面に接しており、人間にとってもっとも身近な環境である。着装した被服は、人間と生活行動を共にすることで、その特性が発揮し、評価される。それゆえ私たちは、環境に適応した被服を選択できる知識を習得しなければならない。また、被服のあるべき姿のもうひとつは、人間本来の生理的機能に照らした、健康で快適な衣生活の実践をはかることである。この講義では被服を構成している繊維および糸の持つ性質が、被服の性質にどう影響を与えているか、また被服の選択の適否や着用のしかたが、人間の健康とどのように係わっていくのかについて述べる。
4	110K5610	32	04	地誌	水	4	岡村 光展	—	若干名	教育学部 105	本年度はロシアを含むアジア地誌、その歴史性や世界の中での位置づけにも留意する。
5	110K7711	14	04	社会スポーツ概論	木	1	大庭 昌昭	—	若干名	教育学部 106	現代社会におけるスポーツの意義やあり方について概説する。主な内容は、①文化としてのスポーツ、②社会の中のスポーツ、③スポーツと法、などを取りあげる。
6	110K6240	13	04	西洋音楽史Ⅱ	木	2	横坂 康彦	—	若干名	教育学部 H棟 H218	洋の東西を問わず、音楽はそれを生み出した文化や社会と、広く、また深く関わっている。私たちの生活する現代社会において、芸術のあり方は大きな変化を遂げ、さらに多様化する一方である。この授業は、そういった変化がいつ頃からどんな形で起こったのか、また私たちを取り巻く音楽事情はどう多様化してきているのかを、ふんだんな実例を踏まえて探究する。本講座ではロマン派の音楽に焦点を当てる。
7	110K5420	29	04	国文学史Ⅱ	木	3	堀 竜一	—	若干名	教育学部 105	日本近代文学におけるダンテ『神曲』の受容史を辿りながら、西洋を初めとする外国文学・外国文化の受容と影響の問題、宗教と文学の問題、文学的原型としての「旅」や「庭」の問題等を、芥川龍之介、宮沢賢治、中島敦、井上靖、遠藤周作等の作品を具体的に取上げつつ考察する。それと同時に、作品本文の成立、典拠、注釈、読解・解釈、批評といった文学の基礎的な技能について、実践的に学ぶ。さらに、文学をさまざまな側面から眺め、文学の(また、文学を学ぶことの)価値・意義について、幅広く考察する。

平成23年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

人文社会・教育科学(教育人間科学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
8	110K5605	31	04	外国史	木	3	堀内隆行	—	若干名	教育学部202	日本の西洋近現代史研究者が今日、さまざまな個別テーマをどのように論じているかを、西洋の歴史研究の歩み、日本の世界史教育の現状にも留意しつつ学ぶ。
9	110K5403	30	04	音声言語 I	金	2	鈴木 恵	—	若干名	教育学部105	日本語の音韻史について学習し、古代から現代に至るまでの間に、母音・子音がどのような変遷を遂げてきたのか、などの諸問題について考究する。
10	110K6602	40	03	英語教育と英文法 II	金	3	本間 伸輔	—	若干名	教育学部D棟7階 音声学室	英語の教員にとっては、英語の高度な運用能力だけではなく、英語の文法についての詳細な知識が不可欠である。この科目は、第1期の「英語教育と英文法I」に続いて、主に中学校・高校英語教育で扱われる文法事項のうち、とりわけ日本人英語学習者にとって理解しづらい事項を中心に取り上げ、現代言語学の研究において得られた知見を踏まえながら、正確にかつ原理的に理解することを主眼とする。「英語教育と英文法I」を履修済みであることが望ましい。
11	110K6764	40	03	共生学習論 II	金	3	内田 健	—	若干名	教育学部204	現代日本で「問題」とされているトピックをいくつかとりあげ、社会の変化をめぐる言説の働きとその効果について考察する。とりわけ、「少子高齢化」論を中心的に取り扱う予定。

人文社会・教育科学(法学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
1	110L1404	34	04	特殊講義(ITと法と経済)	月	1	須川 賢洋	150	若干名	人文社会科学系棟B227	IT社会、ネットワーク社会に必要な法律や経済を中心とした社会科学の知識全般の授業。 (セキュリティ問題には重点をおく予定)
2	110L1607	35	03	政治社会学	月	1	真水 康樹	150	若干名	人文社会科学系棟B331	この講義では「政治統合」に視点を据え、中国をとりまく地域について、当該各地域における政治統合の形成過程と特質を考察することとします。政治統合に関心を向けるので、考察はまず何より政治社会学的になりますし、比較が意識されることから比較政治学的でもあります。対象がアジア地域であることから、地域研究 Area Studiesの要素も持つこととなります。全講の内容をなす個々の地域の政治的なまとまりは、国家という形をとる場合もありますし、自治権を持った地方政府の場合、分断された国家の場合など多様です。これらに対する考察は、同時に、ひとつの国に多くの民族(ethnicity)がいる(多民族国家)場合、国家を持たなかった民族、国境線で分断された民族などについて考えることでもあります。本書はこれらさまざまな政治統合のあり方について考察するにあたって不可欠な視点、重要な歴史事象、基本的な数値や事柄を紹介するという狙いを持つものです。全講をとおして、主権の生成、国境認識の変化、言語政策、民族の分布、首都の選択などの政治中心の変遷、政治的まとまりを強化するために創り出された政治象徴など、政治統合の基礎的な要素に言及しながら、中国を取り巻く地域を、インド、東南アジアから始まって、時計と逆回りに進んで、中央アジア、チベットに進むという順序で考察していきます。
3	110L1311	34	04	特殊講義(国際経済法)	月	2	澤田 克己	150	若干名	人文社会科学系棟B331	本講義は、主として国際的経済関係を規制する国際経済法を扱うものです。ここにいる国際的経済関係には、企業の国際的または国境横断的活動および国家間の経済関係が含まれます。しかし、国際取引法の分野は原則として本講義の対象ではありません。国際経済法と国際取引法の区別は、現在のところ必ずしも明確に確立されていませんが、純然たる私法、すなわち私的当事者間の関係のみに関わる法は国際取引法の分野に属するものとして、本講義の対象外とします。 このような枠組みにおいて、本講義の主な対象は、WTO/ガット法です。1995年1月1日に発足したWTO(世界貿易機関)は、世界貿易の拡大、世界経済の発展のために、国際経済法秩序の拡大、強化、精緻化を行いました。こうした国際経済法秩序を理解することは、国際経済関係が重要なわが国において、とりわけ必要です。WTO/ガットの下に位置づけられ、また同時にそれと並立する地域の経済統合(EU、NAFTA等)も対象とします。 また、21世紀的課題の一つに、環境保護があります。環境保護の要請(「非貿易的関心事項」の一つです)と自由貿易の原則が抵触する場合に、どのような対処がなされるべきかが大きな問題となっています。これをめぐるWTO/ガットおよびEC/EUにおける状況にも立ち入ります。 国際経済法は国際法の一部であるか、国内法も含むかについても争いがありますが、両者を総合的に捉える方が国際経済法の理解に役立つと思われるので、本講義は必要に限りで国内法(通商規制法)も対象とします。

平成23年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

人文社会・教育科学(法学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
4	110L1513	34,35	03	ジェンダー論	月	2	渡辺 豊・他	250	若干名	人文社会科学系棟E020	性に関わる不当な差別の撤廃を図り、男女共同参画社会を実現することが、政府の主要な政策課題の1つとして掲げられている。本講義では、男女差別問題を念頭に置きながら、法学・政治学におけるジェンダー＝「社会的に規定された性」の問題を、オムニバス形式で解説する。
5	110L1114	34	04	企業法Ⅱ	月	3	内田 千秋	150	若干名	人文社会科学系棟E019	本講義では、株式会社法のうち、株式、資金調達、計算、組織再編等に重点を置いて、講義を行う。
6	110L1612	35	03	特殊講義(日本近代外交史)	月	3	稲吉 晃	150	若干名	人文社会科学系棟E020	本講義では、幕末から日中戦争期までの約80年間を対象に、国際社会のなかで近代日本国家がどのような動機や意図のもとに行動し、それがどのような結果をもたらしたのかに着目し、国際社会と日本との相互関係を中心に、日本近代外交史を講義する。
7	110L1203	34	03	裁判法基礎	月	4	西野 喜一・他	300	若干名	人文社会科学系棟D340	現代社会における紛争の解決は、最終的には裁判を通じて解決することとなる。裁判には、私人間の紛争を解決するための民事裁判と犯罪者を処罰するための刑事裁判がある。民事裁判と刑事裁判は扱う社会事象は同一であったとしても、裁判の目的・手続等は異なる。例えば、交通事故で人が死亡した場合に、加害者に損害賠償の支払いを求めるのは民事裁判であるが、加害者の処罰を求めるのは刑事裁判である。民事裁判及び刑事裁判の手続を具体的事例に則して教える。
8	110L1512	34	04	特殊講義(法医学Ⅱ)	火	1	山内 春夫	250	若干名	人文社会科学系棟E160	法医学は、「法律に関係のある医学的問題を研究し応用する医学的部門」であり、いろいろな法律に関係する医学的知識を講義する。刑法と民法に対応して、法医学には、刑事法医学と民事法医学とがある。刑事法医学は、殺人事件や死亡隠し逃げ事件などの犯罪捜査のために鑑定嘱託を受けて司法解剖を行い、死因や死亡時刻の推定、身元確認などに役立っている。一方、民事法医学は、従来は、民法上の親子関係の確認のための親子鑑定や、双生児の卵性診断などが中心であったが、最近では、交通事故や医療事故などにおける損害賠償についての賠償科学的アプローチが行われている。いずれも、正確な事実に基づいた推定と判断が求められており、無色透明なフィルターで、自分の目で見つめることが大事であり、5つのWと1つのHという疑問に答えながら真実の究明を目指している。法医学-2では、賠償科学としての民事法医学について、交通事故や医療事故などを中心に、労災事故や過労死のほか、脳死や臓器移植、安楽死、体外受精、出生前診断など、生命倫理に関する問題についても取り上げてみる。
9	110L1705	34,35	04	自治体政策論	火	1	南 眞二	150	若干名	人文社会科学系棟D340	地方分権改革により自治体の法的権限が拡大したが、これを生かした政策的な条例づくりの課題や留意すべき点について学ぶ。
10	110L1105	34	03	特殊講義(財産権移転型契約)	火	2	石畝 剛士	300	若干名	人文社会科学系棟E160	売買契約を典型とする財産権移転型契約は、法的にも社会的にも最も重要な契約として観念されている。本講義では、主として財産権移転型契約が締結された後の法的規律について概説及び検討を行う。具体的には、所有権の移転と第三者の対抗問題を中心に、その前提としての所有権・占有権の概念を取り扱う。併せて、債権を財産権として捉えた場合のその移転、即ち債権譲渡制度に関しても説明を行う。
11	110L1207	34	04	特殊講義(経済刑法)	火	2	田寺 さおり	150	若干名	人文社会科学系棟F161	現代社会に生じる様々な経済活動に伴う諸問題のうち、いかなるものがいかなる理由で刑事的規制の対象(経済犯罪)となるのかについて講義する。

平成23年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

人文社会・教育科学(法学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
12	110L1602	35	03	政治学	火	2	兵藤 守男	150	若干名	人文社会科学系棟 D340	政治学はまずは具体的な政治現象の解明を目的とするが、他の学問領域に比べ学問のあり方が問われつつある。政治現象が多様・多面で多次元の分析道具を必要とし、私たちの生き方と深く関わっているからでもある。20世紀に入って学問が専門化ないし分化し、学問＝科学というイメージが流布するにつれ、政治現象を解明するアプローチは多種多様となり、政治学は1つの学問分野(discipline)に留まり得ないという指摘も生まれている(これが、政治学はつかみ所がないという評価を生む理由の一つだろうと思う)。一方で、政治学には、固有の説明言語や文法があるとするとオーソドックスな考え方もある。 政治現象が厄介な代物なのか、政治学(者)が問題をいわずらに複雑にしているだけなのか、そのあたり判断は難しいが、本講義では、政治現象を理解する上で必要な道具立てを説明する。講義の内容がなるべく抽象に流れないように身近な具体事例をあげながら説明することにはしたいが、事柄の性質上やむを得ない場合もあるかと思うので、ご了承願う。 本年度も、政治一般を中心に講義する。2007年度から、政治制度の概要部分を特殊講義(政治制度論)として独立させている。また、従来の講義内容の一部(「決定」「責任」「リーダーシップ」等)を特殊講義(政治と決定)に移し、代わりに、本講義では、「秩序」等を新たに設けた。関連科目のシラバスも参照されたい。
13	110L1007	34	04	特殊講義(財政法)	火	3	今本 啓介	150	若干名	人文社会科学系棟 E160	本講義では、国の財政制度の基本(特に歳出)、会計制度の基本、財産管理制度の基本、ならびに地方財政制度について扱う。なお、国の財政制度の歳入については、別途「税法」で扱われる。
14	110L1810	34,35	03	特殊講義(新潟市の行政)	火	5	田巻 帝子	250	若干名	人文社会科学系棟 D340	新潟大学と新潟市が締結した包括連携協定に基づいて、新潟市役所に勤務する現場経験豊富な職員が新潟大学で講義をおこなうもので、行政サービスの提供における諸課題や政策形成の過程、法執行の現実など行政現場の実情についてお話をさせていただくものである。
15	110L1305	34	03	国際法概論	水	1	渡辺 豊	250	若干名	人文社会科学系棟 D340	国際社会を規律するルールが国際法である。国際社会の構造を法の観点から学ぶことが本講義の目的である。また、国家を中心に構成される国際社会における法の役割と現状(及び他分野との関係)を知り、具体的問題について国際法の知識を駆使して考えられるようになることも目的である。
16	110L1002	34	03	憲法基礎Ⅱ	水	2	嶋崎 健太郎	300	若干名	人文社会科学系棟 E160	国民の人権を保障し国家権力をコントロールする国の基本法という意味での近代的意味の憲法を前提にして、日本国憲法の人権保障システムについて概観する。あわせて、各国の憲法との比較も試みる。
17	110L1013	34	04	税法Ⅱ	水	2	駒宮 史博	150	若干名	人文社会科学系棟 B331	この講義では、第1期の税法Ⅰの講義に引き続き、主要な税目である法人税について、制度の基礎となっている考え方の検討を行う。
18	110L1703	35	03	行政学総論	水	2	田村 秀	140	若干名	人文社会科学系棟 D340	本講義は、「行政活動について考察する学」である行政学について総論的に論じるものである。具体的には教科書や参考文献を基に講義を進めつつ、行政の歴史、中央政府の組織、公務員制度、財政制度、議会、市民の役割、地方自治の理念、地方政治、政策過程、行政改革や行政を取り巻く最新の動きを事例も用いながら概説し、行政を様々な視点から把握するための基本的な事項を紹介することを予定している。
19	110L1003	34	04	特殊講義(統治機構論)	水	3	上村 都	300	若干名	人文社会科学系棟 D340	国家の意思形成がどのように行われるべきかについては、憲法第4章以下がその基本的な仕組みを定めている。しかしながら、憲法制定から60年以上を経て、その仕組みの機能不全や制度疲労が指摘されるに至っている。本講義では、日本国憲法が定める統治の基本的仕組みおよび統治構造をめぐる諸問題を中心に、憲法の統治機構のアウトラインを講述する。
20	110L1112	34	03	特殊講義(消費者法)	水	3	牧 佐智代	150	若干名	人文社会科学系棟 E020	消費者が取引主体となる場面は、現代社会においてますます増加している。それに伴い、「消費者問題」が現実にも理論的にも脚光を浴び、それを規律する様々な特別法が制定されている。本講義では、特別法を含め「消費者法」と呼ばれる領域を規律する様々なルールの仕組みと内容について概説を行う。
21	110L1401	34	04	法情報学	水	3	鈴木 正朝	150	若干名	人文社会科学系棟 B226	情報と法の関係を法社会学的または情報学的見地から考察する。
22	110G7539	34	03	日本国憲法B	木	1	三村 光弘	300	若干名	総合教育研究棟 E-260	日本国憲法の基本原理を基本的人権を中心として学習するとともに、具体的事例に照らしながら現在の日本の憲法状況を検討することにより、日常生活、社会生活における憲法の機能を理解する。
23	110L1304	34	04	医療保障法	木	1	白川 泰之	150	若干名	人文社会科学系棟 B331	本講義が医療保障法として講義の対象とするのは、医療保険法、後期高齢者医療制度、生活保護法における医療扶助のほか、医療供給体制が中心となります。

平成23年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

人文社会・教育科学(法学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
24	110L1502	34	04	西欧法史 I	木	1	松本 英実	150	若干名	人文社会科学系棟 D340	西洋法を理解する上で重要な古典的作品を読み進めながら、作品と関連させる形で古代から近代までの西洋法の歴史を考察してゆきます。
25	110G7541	34	03	日本国憲法D	木	2	三村 光弘	300	若干名	総合教育研究棟 E-260	日本国憲法の基本原理を基本的人権を中心として学習するとともに、具体的事例に照らしながら現在の日本の憲法状況を検討することにより、日常生活、社会生活における憲法の機能を理解する。
26	110L1106	34	03	特殊講義(履行障害)	木	2	大澤 慎太郎	250	若干名	人文社会科学系棟 E160	本講義は、契約がその内容通りに実現されない場合(履行障害)に関する民法上の規律について、これに関連する諸制度も含めて検討を行うものである。
27	110L1302	34	04	労働保護法	木	2	木南 直之	150	若干名	人文社会科学系棟 B331	現代社会において生活する際には「労働」とのかかわりは不可避なものとなっている。こうした労働関係・労使関係のルールを定めた「労働法」のうち、本講義では個々の労働者の保護に関する問題(主に労働基準法)の解説を行う。
28	110L1503	34	03	中国法史	木	2	國谷 知史	140	若干名	人文社会科学系棟 D340	この講義は、東アジアにおいて独自の法系・法文化を樹立し、歴史的に日本を含む周辺諸国に大きな影響を与えた中国の法の歴史を対象とする。ただ、歴史を対象とするとは言っても、視座を現在に据え、変革期にあり立法期にある現在の中国の法に関する一切の現象を理解する基礎を固めることを目的として設定した上で、現在と未来を歴史的に把握するための必須の作業として過去に遡ることとする。 したがって、清朝まで続いた皇帝による専制王朝の法(伝統中国法)の基本的な枠組みを押さえたうえで、これが現在の法(現代中国法とりわけ1993年以降の立法)へと転換していく歴史的過程を、中華民国(1949年以前)と中華人民共和国に分けて講義する。
29	110L1510	34	03	特殊講義(法哲学)	木	3	根森 健	150	若干名	人文社会科学系棟 B331	「社会あるところ法あり」という古くからの法諺(ほうげん=法に関することわざ・格言)に良く表されているように、法(法律)は、私たちが生きて暮らしている社会(国際社会や国家から家族までを含む)に深く関わっている。法哲学とは、笹倉秀夫教授によると、「法と社会に関する事柄を、原理的かつ総体的に考察する学問」(『法哲学講義』より一部変更・省略して引用。ちなみに、笹倉教授は「原理的・総体的考察」すなわち「そもそも論」のことだと述べている)だそうである。法哲学が扱う主要テーマとしては、おおむね、①法と社会をめぐる基本的な価値についての考察、②法と法システムの一般理論、③法学の方法論、④法思想史を挙げることができる。今年度は、①から③に関わる基本的な問題・事例について、受講者の皆さんと担当教員とでできるだけ「考察する」ことに務め・努めたいと思っている。
30	110L1610	35	03	特殊講義(メディアと政治)	木	3	谷 喬夫	300	若干名	人文社会科学系棟 D340	2001年4月から始まった「小泉劇場型政治」は、2005年9月の郵政選挙によって頂点に達した。5年余に及ぶ小泉政治は、いったい何だったのだろうか。それによって、日本の政治、経済構造は改善されたのか悪化したのか、あるいは小泉政治は、バブル経済破綻後の国民の鬱積した不満の上に演じられた「見世物」で、終わってしまうことになるのだろうか。 「小泉劇場」政治は、いよいよ日本に「テレビ政治」時代が本格化したこと、「マスメディアと政治」というテーマが本格的に研究されるべきことを示すものである。また小泉政治をめぐる、日本で「ポピュリズム」というテーマが初めて問われるようになっていく。現代では、「マスメディア」と「ポピュリズム」は、明らかに相乗の関係にあり、そこには、議会制デモクラシーの進路にとって、単純に肯定的に捉えられない側面、ある意味で病的な傾向も含まれている。 こうした問題関心を踏まえ、この講義では、テキストに即して、「メディアと政治」について考えてみたい。同時に講義では、20世紀初頭以来の「大衆社会論」、「世論」研究を紹介しながら、「デモクラシーとポピュリズム」の問題点を検討してみたい。こうした論点は、今のところ誰もよく解答できない問題であるから、学生諸君の自主的な勉強に期待したい。
31	110L1005	34	03	行政法総論	金	1	南 眞二	250	若干名	人文社会科学系棟 E160	行政法の基本原理及び行政法の総論的・基本的仕組みを講義する。
32	110L1501	34	04	比較法	金	1	松本 英実	150	若干名	人文社会科学系棟 B331	現在の日本法を世界の中に位置づけるための視点と方法を身につける。そのために以下の三点を柱とした授業を行なう。 1、伝統的な比較法学の方法である法系論から出発して、その限界を理解する。 2、現在の世界の法状況を理解し、比較法のアクチュアルな課題を考察する。 3、そのための有効な接近方法としてミクスト・リーガル・システムについてその内容を理解する。

平成23年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

人文社会・教育科学(法学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
33	110L1202	34	03	刑事法基礎Ⅱ	金	2	田寺 さおり	300	若干名	人文社会科学系棟 E160	刑法各論、つまり、個別の犯罪における固有の成立要件について講義する。
34	110L1308	34	04	特殊講義(国際組織法)	金	2	熊谷 卓	150	若干名	人文社会科学系棟 E019	国際法は、国家、国際組織、場合によっては個人を規律対象とする「法」である。本講義は、広範囲の領域を対象とする国際法のなかでも、国際組織(機構)に関する国際法(以下、国際組織法)を講ずる。国際組織を規律する法の特徴をあきらかにすることを本講義の目的とする。
35	110L1604	35	03	特殊講義(西洋政治思想史)	金	2	谷 喬夫	250	若干名	人文社会科学系棟 D340	ヨーロッパの政治思想を論ずる場合、通説は、ギリシャ・ローマの古典古代政治思想から始め、中世キリスト教普遍共同体思想を経て、近代主権・国民国家の思想を扱い、時代としては古代から19世紀後半までを対象とする。しかしこの講義は2単位であるから、取り上げるのできる政治思想は限定されてくる。ここで対象とするのは、近代の政治思想史であり、中心テーマは、「主権と社会契約」論の形成である。対象とする時代は、16世紀のルネサンスからフランス革命を経て19世紀初頭までであり、地域的には、イタリア、イギリス、フランス、ドイツが対象となる。中心テーマを「主権と社会契約」論としたのは、それが現代にいたるまで、近代ヨーロッパ政治理論の核心を形成しているからである。またそれは、今日の政治思想として「グローバル・スタンダード」ともされているリベラル・デモクラシーのルーツであり、理論的前提である。日本は明治維新(19世紀中期)以来、こうしたヨーロッパの政治思想を、伝統的政治文化との確執を孕みながら、何らかの形で輸入し、摂取してきた。その点を意識しながら講義を進めたい。
36	110L1008	34	04	特殊講義(行政組織法)	金	3	今本 啓介	150	若干名	人文社会科学系棟 E020	本授業では、行政法のうち「行政組織法」に当たる部分を扱い、中でも、行政組織法の一般理論、国家行政組織法・内閣法、公務員法、公物法を扱う。地方自治法については、別途「自治体法」の授業が開講されるので、併せて受講されたい。
37	110L1111	34	03	特殊講義(債権管理法)	金	3	田中 幸弘	300	若干名	人文社会科学系棟 D340	クレジットでの支払い、消費者金融、銀行からの融資など、金銭の貸借を典型とする消費貸借契約は、社会生活を営む上で非常に関わりが大きいだけでなく、法的にも重要な問題が数多く存在する。本講義では、金銭消費貸借契約及びそこから派生する諸問題に関して、民法典(及び特別法)がどのように規律しているかにつき概説及び検討を行う。とりわけ、弁済その他の債務消滅原因に関する規律と、債権保全の在り方が大きな柱となる。また、多数当事者間の債権債務関係についても取り扱う。なお、人的担保・物的担保に関しては、別の講義が予定されているため、本講義の内容には含まれない。
38	110L1402	34	04	知的財産法	金	3	渡邊 修	150	若干名	人文社会科学系棟 F161	特許法は、産業の発達を目的とする法律であり、特許法の保護のレベルは各国の産業の発展状況に応じて異なりうる。一般に発展途上国では、他国の先進技術を自国に取り込み自国の産業を育成しようとはかるため保護のレベルは低くなり、逆に先進国では、膨大な資本を投下して開発した先端技術が容易に模倣されることを許しては技術投資へのインセンティブを殺ぐ結果となるので保護のレベルは高くなる。日本の産業界はこれまで品質のよい大量生産品を安価に提供することで世界の市場へ進出して行ったが、こうした産業形態は模倣が容易であり、実際、これらの分野では日本はアジアの新興工業国にどんどん追い上げられている。今、日本の産業界に求められているのは他国が容易に真似のできない高付加価値の工業製品を開発することであり、その法的な担保として、プロパテント(特許強化)政策が叫ばれているのである。こうした事情を反映して、「遺伝子特許」「バイオテクノロジーの保護」「ビジネスモデル特許」「ソフトウェア特許」などの言葉が連日、新聞に踊っている。こうしたなかであって、発明者の利益を守りつつ、技術開発への企業のインセンティブを高め、ひいては産業がもっともよく発達するような制度設計・解釈論を諸君とともに考えていくのが、本講のねらいである。
39	110L1619	35	03	国際関係論	金	3	黒田 俊郎	250	若干名	人文社会科学系棟 B331	法学部法学科で学ぶ学生のための政治学関連科目というカリキュラム編成上の特徴に鑑み、初学者向けの国際関係の入門・基礎講座とします。現代国際関係を理解するさいに必要な、歴史感覚、現場感覚、基本概念を、受講生に習得してもらうことが主たる授業目的です。今年度の授業では、冷戦終結を序論として、その後20年間あまりの国際政治の動向を主に冷戦期とは異なる新たな「戦争」の物語として叙述します。映像資料も適宜使用し、できるだけ臨場感あふれる授業にしたいと思います。

平成23年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

人文社会・教育科学(経済学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
1	110G7547	36	03	現代日本経済論	月	5	齋藤 忠雄	100	若干名	総合教育研究棟 B-251	人類は、生誕と共に、生産と消費を中心とする経済活動を続けて来ました。人間生活の物的基礎をなすこの経済活動は、この間たんに高度化してきただけではありません。その社会のあり方は、量的な変化と共に歴史の上で段階的に、また国や地域ごとに個性を持って発展して来ました。本講義は、そのような視角から、現代日本経済の主要な論点について講じていきます。
2	110E5060	36	04	労働経済学Ⅱ	月	7	北條 雅一	100	若干名	人文社会科学系棟 B227	多様化する働き方、年功賃金と長期雇用、格差と貧困について、近年の動向を概観しながら解説する。
3	110E1195	36	04	公共経済論Ⅰ	火	2	中東 雅樹	200	若干名	人文社会科学系棟 B331	通常の経済活動において、政府などの公的部門が関与する場面は多いが、その関与度合いは、さまざまな立場から意見が述べられ、時代によっても評価が変わっている。そこで、本科目は、市場メカニズムで成り立っている経済に対して公的部門の介入がもたらす資源配分や経済活動への影響についてミクロ経済学を基礎にした検討や評価ができるようにすることを意図したものである。なお、本科目で扱う内容は、資源配分メカニズムとしての市場の評価と公共財、税制、所得再分配政策である。
4	110E1229	36	04	ロシア経済論	火	2	道上 真有	100	若干名	人文社会科学系棟 B227	1992年から現在のロシア経済についての授業を行う。
5	110E1267	37	04	業績管理会計論Ⅱ	火	2	李 健泳	200	若干名	人文社会科学系棟 B226	業績管理会計は、各組織階層における責任単位別に計画と実績を数量的に対応させ、各責任単位とその実行責任者の業績を測定し評価するための会計ツールである。このような会計ツールには、期間計画と統制を一つのシステムとして取り組む、事業部制会計、短期利益計画・予算管理などがある。しかし、激しい企業環境変化により戦略性が重視され、従来の管理会計の内容に変革が求められている。したがって、本講義では、環境変化により変わりつつある企業業績管理会計の事例をテーマ別に取り上げ、短期計画と統制を中心に理論と実務を結びつけながら進める。
6	110E1237	36, 33	04	異文化論	火	3	大竹 芳夫	20	若干名	人文社会科学系棟 B121	「ことばは文化の乗り物、心の鏡」であると言われる。英語ということばには英語話者の文化や発想が映し出される。異文化論では英語を軸に、言語学や異文化研究の最新の研究成果をふまえながら、英語話者の生き生きとした英語感覚や発想、異文化と自文化の価値の多様性、そして人間の心の働きとことばの仕組みを考える。(詳しくはシラバスを参照ください)
7	110E1177	36	04	外書講読Ⅱ	火	5	藤井 隆至	15	若干名	人文社会科学系棟 B121	戦後アジアと日本企業との関係を勉強する。
8	110E5073	36	04	ロシア経済論	火	6	道上 真有	50	若干名	人文社会科学系棟 B227	1992年から現在のロシア経済についての授業を行う。
9	110E5068	36	04	日本経済史	火	7	藤井 隆至	50	若干名	人文社会科学系棟 B227	明治以降の日本経済の展開過程を大局的に把握する。
10	110E5126	37	04	会計学特殊講義	火	7	李 健泳	100	若干名	人文社会科学系棟 B122	会計学特殊講義では管理会計の基礎知識を習得する。本講義では、環境変化により変わりつつある企業の管理会計事例をテーマ別に取り上げ、経営戦略、企業価値評価、設備投資計画のような中長期計画における管理会計問題と予算編成、短期利益計画、原価計算および原価管理のような短期取支管理における管理会計問題を中心に理論と実務を結びつけながら進める。
11	110E1264	37	04	管理会計論Ⅱ	水	1	山口 直也	100	若干名	人文社会科学系棟 B226	管理会計とは、組織内部の経営管理者に対し、経営管理に不可欠な経済的情報を提供することを目的とする会計理論と技術のことです。本講義では、主に業績管理に焦点を当て、その伝統的な手法である予算管理の意義と限界について学びます。

平成23年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

人文社会・教育科学(経済学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
12	110G7546	36	03	ユーロ圏経済入門	水	5	藤田 憲	100	若干名	人文社会科学系棟 B227	バルト三国の一つエストニアが今年1月から欧州単一通貨ユーロ導入に踏み切り、ギリシャ財政危機を発端とする「ユーロ危機」下において、ユーロ圏は17カ国に拡大した。旧ソビエト連邦構成国の中でユーロを導入するのはエストニアが初である。ユーロは、紙幣流通量でUSドル紙幣を凌駕するなど、第2の基軸通貨としての存在感を増している。しかし、ユーロ圏周縁国のギリシャやアイルランドで財政が破綻し、ポルトガルやスペイン、イタリアでも信用不安がくすぶる。これら「PIIGS」諸国の財政問題がユーロ圏経済全体を動揺させていることは明らかであり、東欧諸国がユーロの早期導入方針の見直しを発表するなど、国際金融史的成果としてのEU条約に基づく経済通貨同盟は、その存在意義を厳しく問われている。本講義は、他地域に類を見ないリージョナル通貨統合を実現した欧州経済の特色を、17カ国からなるユーロ圏における為替変動リスク回避システムの形成という国際金融史的観点から論じつつ、「ユーロ危機」の深層を実証的に考察する。
13	110E1018	37	04	会計入門	水	6	山口 直也	120	若干名	人文社会科学系棟 E019	本講義では、財務諸表を分析するための基礎的な考え方について学びます。まず、財務諸表の基本構造と日本の会計制度の概要を理解した上で、株主・債権者・投資家といった財務諸表の利用者の立場から行う財務諸表分析の基礎について学びます。

医歯学(医学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
1	110G8502	80, 57, 87	03	システムバイオロジー	金	3	山本 格	150	若干名	総合教育研究棟 G-415	ポストゲノム時代の新しい生物学。分子生物学とコンピュータサイエンスを融合させ、生物をシステムとして理解することを目指す。個々の遺伝子やタンパク質といった分子に着目する従来の分子生物学と異なり、分子で構成されるシステムで生命の本質や生物の仕組みを総合的に理解する。特に、ヒトのシステムを総合的に理解し、病気を考える基盤的知識を習得する。

医歯学(歯学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	曜日	時限	担当教員	全体の定員	募集定員	講義室	科目の概要
1	110G8509	75, 86	03	新潟発福祉学	水	3	鈴木 昭・他	100	若干名	総合教育研究棟 B-351	変革の只中にある社会福祉を理論と実践の往復運動としてとらえ、児童家庭・女性・障害、高齢者など各領域における地道・多彩な福祉の実践、実務の講義・演習をとらえて福祉の今を学ぶ。
2	110G8508	90	03	顔	金	4	森田 修一・他	200	若干名	総合教育研究棟 G-410	顔を中心とした講義である。口元が変わることで顔の印象が大きく変化する。あるいは、なぜ他人の顔に関心を持ったり、顔色を伺ったり、化粧をするのだろうか。それは、顔が単なる感覚器官の集まりだけではなく、人と人とのコミュニケーションとしての役割も果たしているからであろう。顔を対象とした研究や活動は、幅広く社会文化系、工学系、心理学系、医学・歯学系で扱われている。しかし、それぞれの分野での関心やテーマ、さらには研究や活動の手法も異なっている。それぞれの研究や活動を知ることにより、顔に関する幅広い知識を得る。

教員用

新潟大学市民開放授業受講票

授業科目名	
-------	--

受講者連絡先等	受講者氏名	
	電話番号（自宅）	（ ）
	電話番号（携帯）	（ ）
	電話番号（勤務先）	（ ）
	電子メールアドレス	@

- (注) 1. 線の枠内を記入のうえ、授業担当教員に提出してください。
 2. 授業担当教員は、授業が終わるまで保管し、急な休講等連絡が必要の時にご利用ください。

----- 切り取り線 -----

教員用

新潟大学市民開放授業受講票

授業科目名	
-------	--

受講者連絡先等	受講者氏名	
	電話番号（自宅）	（ ）
	電話番号（携帯）	（ ）
	電話番号（勤務先）	（ ）
	電子メールアドレス	@

- (注) 1. 線の枠内を記入のうえ、授業担当教員に提出してください。
 2. 授業担当教員は、授業が終わるまで保管し、急な休講等連絡が必要の時にご利用ください。

----- 切り取り線 -----

教員用

新潟大学市民開放授業受講票

授業科目名	
-------	--

受講者連絡先等	受講者氏名	
	電話番号（自宅）	（ ）
	電話番号（携帯）	（ ）
	電話番号（勤務先）	（ ）
	電子メールアドレス	@

- (注) 1. 線の枠内を記入のうえ、授業担当教員に提出してください。
 2. 授業担当教員は、授業が終わるまで保管し、急な休講等連絡が必要の時にご利用ください。

教員用

新潟大学市民開放授業受講票

授業科目名	
-------	--

受講者連絡先等	受講者氏名	
	電話番号（自宅）	（ ）
	電話番号（携帯）	（ ）
	電話番号（勤務先）	（ ）
	電子メールアドレス	@

- (注) 1. 線の枠内を記入のうえ、授業担当教員に提出してください。
 2. 授業担当教員は、授業が終わるまで保管し、急な休講等連絡が必要の時にご利用ください。

----- 切り取り線 -----

教員用

新潟大学市民開放授業受講票

授業科目名	
-------	--

受講者連絡先等	受講者氏名	
	電話番号（自宅）	（ ）
	電話番号（携帯）	（ ）
	電話番号（勤務先）	（ ）
	電子メールアドレス	@

- (注) 1. 線の枠内を記入のうえ、授業担当教員に提出してください。
 2. 授業担当教員は、授業が終わるまで保管し、急な休講等連絡が必要の時にご利用ください。

----- 切り取り線 -----

教員用

新潟大学市民開放授業受講票

授業科目名	
-------	--

受講者連絡先等	受講者氏名	
	電話番号（自宅）	（ ）
	電話番号（携帯）	（ ）
	電話番号（勤務先）	（ ）
	電子メールアドレス	@

- (注) 1. 線の枠内を記入のうえ、授業担当教員に提出してください。
 2. 授業担当教員は、授業が終わるまで保管し、急な休講等連絡が必要の時にご利用ください。

平成23年度新潟大学授業暦

■ は、休業(講)日を示す。

□ は、授業振替日を示す。

下線は、ガイダンス・補講日等を示す。

特に○印は、予備日とする。

第1学期

第2学期

第1学期								第2学期								
日	月	火	水	木	金	土	事項	日	月	火	水	木	金	土	事項	
					1	2	4/5 入学式							1	10/3 第2学期授業開始	
4月	3	4	5	6	7	8	4/6~8 ガイダンス	10月	2	3	4	5	6	7	8	10/3 秋期入学式
	10	11	12	13	14	15	4/11 第1学期授業開始		9	10	11	12	13	14	15	
	17	18	19	20	21	22			16	17	18	19	20	21	22	
	24	25	26	27	28	29			23	24	25	26	27	28	29	
									30	31						
5月	1	2	3	4	5	6		11月			1	2	3	4	5	
	8	9	10	11	12	13			6	7	8	9	10	11	12	
	15	16	17	18	19	20			13	14	15	16	17	18	19	
	22	23	24	25	26	27			20	21	22	23	24	25	26	
	29	30	31						27	28	29	30				
6月			1	2	3	4	6/1 開学記念日	12月					1	2	3	
	5	6	7	8	9	10			4	5	6	7	8	9	10	
	12	13	14	15	16	17			11	12	13	14	15	16	17	
	19	20	21	22	23	24			18	19	20	21	22	23	24	12/20 金曜日授業振替
	26	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	12/24~1/6 冬期休業
7月					1	2		1月	1	2	3	4	5	6	7	1/10 授業再開
	3	4	5	6	7	8			8	9	10	11	12	13	14	1/13, 16 センター試験準備, 片付けのため休講
	10	11	12	13	14	15			15	16	17	18	19	20	21	1/17 月曜日授業振替
	17	18	19	20	21	22			22	23	24	25	26	27	28	
	24	25	26	27	28	29			29	30	31					
	31							2月				1	2	3	4	
8月		①	②	③	④	⑤	8/11~9/30 夏期休業		5	6	7	⑧	⑨	⑩	11	
	7	8	9	10	11	12			12	⑬	⑭	15	16	17	18	
	14	15	16	17	18	19			19	20	21	22	23	24	25	
	21	22	23	24	25	26			26	27	28	29				
	28	29	30	31				3月					1	2	3	
9月				1	2	3			4	5	6	7	8	9	10	
	4	5	6	7	8	9			11	12	13	14	15	16	17	3/11~3/31 春期休業
	11	12	13	14	15	16	9/20 秋期卒業式		18	19	20	21	22	23	24	3/23 卒業式
	18	19	20	21	22	23			25	26	27	28	29	30	31	
	25	26	27	28	29	30		授業週数	15	15	15	15	15			
授業週数	15	15	15	15	15			授業週数	15	15	15	15	15			

昼間コース	
1限	8:30 ~ 10:00
2限	10:15 ~ 11:45
H・T	11:55 ~ 12:45
3限	12:55 ~ 14:25
4限	14:40 ~ 16:10
5限	16:25 ~ 17:55

夜間主コース	
6限	18:05 ~ 19:35
7限	19:45 ~ 21:15

※H・T(オナーズタイム)は、原則として副専攻等における授業時間帯とする。

発行・お問い合わせ先

新潟大学 学務部 教務課 教育実施係
〒950-2181
新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL 025 (262) 6307
FAX 025 (262) 6304
E-mail g-gakumu@adm.niigata-u.ac.jp

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。